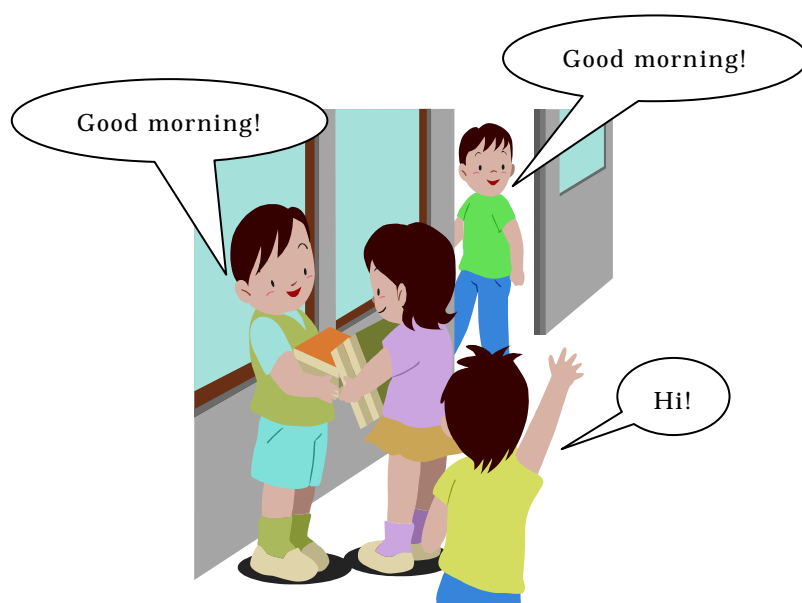


【授業を終えるとき】

A: That's all for today. (今日はこれ終わりです。) See you. (また会いましょう。)

B: See you.



授業で日常的に使える英語表現については、「先生が授業で使用する英語表現」として、本書 75～78 ページに掲載してありますので、参照してください。

英語に親しむ雰囲気づくり

子どもたちが、英語を聞き間違えたり、言い間違えたり、正確に発音することができなかつたりしても、何をしたかったのか、何を言いたかったのかが先生に伝わっているのであれば、逐一その間違いを指摘してやり直しや言い直しをさせる必要はありません。先生が言い直して、その英語を何度でも聞かせればよいのです。

自然に、少しずつ、子どもたちが発話したり、子どもたち同士の間でも英語が使われるようになっていったりするように、子どもたちを支援していくことが大切です。

□ 活動集の特徴と活用方法

本書では、1～15の活動ごとに、4ページにわたって説明しています。最初の1～2ページでは活動の「内容」と「活動の参考資料」、次の3～4ページでは見開きで、「活動の流れ」に沿って、「担任(ALT)の動き」、「児童の活動」、「授業の進め方」について説明しています。

1 ページ目 活動の「内容」について

1 トピック

活動名	
活動のねらい	
取りあげる英単語	
取りあげる英語表現	
準備するもの 付	
活動内容/活動の流れ	
<p>この欄には、どのような活動内容なのかを、また、どのように活動を進めていけばよいのかを具体的に示しました。</p>	

トピック名

複数ある場合には番号を付記しました。

活動名

活動の内容をイメージしやすいような名称にしました。

活動のねらい

子どもたちが何をすればよいのかを示しました。

この「活動のねらい」を念頭に置いて授業を進めます。

取りあげる英単語

授業で先生が子どもたちに聞かせる英単語の例を示しました。

同じ活動を何回かに分けて行うことができるように配慮して、活動によっては英単語を多めに示してあります。1回の活動ですべての英単語を扱うということではありません。

「取りあげる英単語」は付録CDに収録されていますので、聞いて練習することもできます。

取りあげる英語表現

先生が子どもたちに聞かせる主な英語表現の例を示しました。

「取りあげる英語表現」は付録CDに収録されていますので、聞いて練習することもできます。

準備するもの

絵、写真、カードなど、各活動を行う際に必要となるものを示しました。

項目名の欄に「付」とあるものは付録CDに収録されていますので、活用することもできます。



2 ページ目 「活動の参考資料」について

活動の参考資料として、必要に応じて「こんな英単語も取りあげることができます」、「こんな英語表現も取りあげることができます」、「ここで使える絵カードやワークシート」、「ひとくちメモ」などの項目を設け、関連事項を掲載してあります。

3～4 ページ目

「活動の流れ」、「担任(ALT)の動き」、「児童の活動」、「授業の進め方」について

このページには、活動の流れ、どのような英語表現をどのように子どもたちに聞かせればよいのか、予想される子どもたちの反応、どのように活動を進めればよいのかを示してあります。

ALT とのチーム・ティーチングの打合せを行う場合には、ALT に「担任(ALT)の動き」の部分をスクリプト(台本)として示すことで、どのような活動を行うのかを短時間で伝えることができます。

【ALT との打合せで使用する英語表現の例】

Can we talk about the next class?

(次回の授業について話をしたいのですが。)

This is the activity plan.

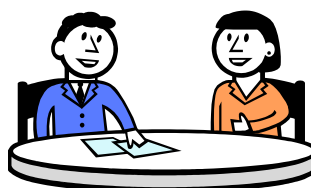
(これが活動プランです。)

Please follow the script.

(スクリプトに従って行ってください。)

Please use English based on this script.

(このスクリプトに基づいて英語を使ってください。)



付録 CD に音声を収録してあります。

スクリプトの音声は付録 CD に収録されていますので、聞いて練習することもできます。また、「授業の進め方」に沿って CD の音声を流すだけでも授業を行えるようにしてあります。スクリプト中の【1】、【2】……は、収録されている音声のまとまりごとの番号を示し、△マークは「そこで CD をとめる」ことを示しています。

なお、各活動についての音声の収録内容については、86 ページを参照してください。

～ 先生方へ ～

「取りあげる英単語」、「取りあげる英語表現」、「スクリプトに示されている英語表現」は、その活動で先生が取りあげ、使用するものの例を示してあるだけです。子どもたちにそれらを言わせたり覚えさせたりすることを目的としてはいません。その活動をとおして、あくまでも子どもたちに聞かせ、慣れ親しませることを目指しましょう。

トピック別活動内容一覧

トピック	活 動 名 数字は活動の通し番号	ページ	付録 CD 収録 の絵カードや ワークシート 等の有無
数	1 歌ってみよう Seven Steps!	14 ~ 17	
	2 たして 10 になる数は? the Count to Ten Game	18 ~ 21	
	3 何匹いたかな?	22 ~ 25	
食べ物	4 レモンはいくつ?	26 ~ 29	
生き物	5 いったい、これは何だろう? 象だ!	30 ~ 33	
	6 手影絵で遊ぼう!	34 ~ 37	
	7 いなくなった動物は?	38 ~ 41	
	8 どんな動物がいるかな?	42 ~ 45	
先生・友だち	9 友だちや先生の好きなものは?	46 ~ 49	
色・形	10 星形のカードは何色? 赤色のカードは どんな形?	50 ~ 53	
	11 虹(にじ)ってどんな色かな?	54 ~ 57	
	12 いろいろな形で絵を描いてみよう!	58 ~ 61	
からだの 部位	13 描いた絵見せて! どんな動物になっ た?	62 ~ 65	
地図	14 地図記号カードで遊ぼう!	66 ~ 69	
月・曜日	15 生まれた日は何曜日だった?	70 ~ 73	